

科学博物館ニュース速報

No.14 August 1, 2014

第14号 2014年8月1日

着任のご挨拶

特任助教 飯野孝浩

7月1日より、特任助教として科学博物館に着任いたしました。飯野孝浩と申します。



大学院博士課程までは名古屋大学の太陽地球環境研究所という附置研究所におりました。

専門の研究は「電波天文学」と呼ばれる分野です。宇宙の天体が発する波長の短い電波を観測し、天体がどのようなガスをまとっているか、その起源は何か、そして天体がどのような進化をしてきたかを調べています。専門の研究と併せて、大学の研究を市民に伝える活動にも取り組んでいました。

東京農工大学は140年の歴史を誇る研究大学であり、最先端の研究が実に多様に展開されてきました。その苦闘の歴史、イノベーションの系譜を、大学のステークホルダーである市民にいかにつけていくか、これは本学のみならず全国の大学に課せられた課題ではないでしょうか。

大学博物館はその先頭に立って、市民と大学・先端科学との橋渡しをしていかなければなりません。この大きな課題に向け、微力ながら粉骨砕身して参りますので、どうぞよろしくお願いたします。

企画展「川島浩の写真に見る山の恵みと人々の暮らし」開催報告

会期：平成26年5月27日～7月26日

本学卒業生の写真家、故・川島浩氏の写真展が7月26日をもちまして無事終了いたしました。期間中、3,473名の来館者がありました。

川島氏の写真をもとに地域生態システム学科の各先生方に林業や、里山の営みにまつわるキャプションを書いていただき、日本の里山文化を知る上でも貴重な展示となりました。特に松本武先生からお借りした山道具などは、多様な種類があり、用途に応じて使い分ける工夫や知恵が感じられます。また、講演会も学生や、外部の林業関係の方のご参加もあり、

活発なディスカッションが行われました。林業技術におきましても本学は長い研究の歴史を持っています。本企画展の写真を通してその一端に触れていただく機会となりました。

○実施期間中のイベント

講演会「木の文化を支える林業技術」

6月21日 当日参加者22名

○学内見学

6月19日本学農学部基礎ゼミ 9名

6月24日本学農学部地域生態システム学科3年生 10名

(科学博物館学芸員 齊藤有里加)



企画展の様子（入口）



企画展の様子（入会林とは何か）

ミニ企画展「分館コレクション：畜力農機具展」開催報告

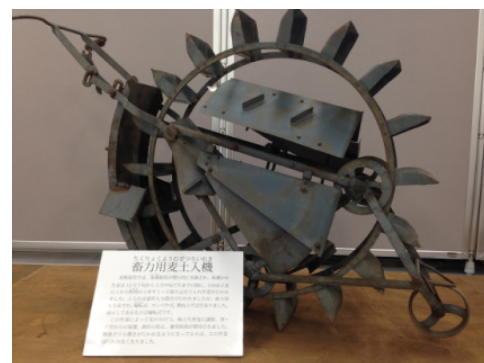
会期：平成26年3月29日～6月28日

3月末から実施していた畜力農機具展が6月28日をもって無事終了いたしました。およそ3か月の展示となりました。多くの方にご覧いただく機会となりました。期間中、学内で教職員同窓会が催され、農学部OBの教員の方々にも見ていただく機会となりました。当資料の収集に携わり、畜力農機具資料室の建設に尽力された下田博之先生もご見学くださり、

各資料についての当時の話についてもお話しいただく機会となりました。

現在、畜力農機具資料室は耐震工事のため、しばらく資料をご覧いただく機会はありませんが、産業考古学会の産業遺産300選に登録されている当資料を今後も大切にしていきたいと思っております。

(科学博物館学芸員 齊藤有里加)



畜力用麦土入機

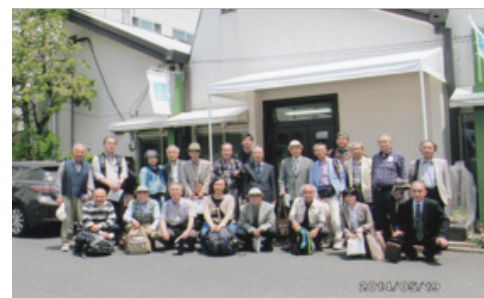
博物館支援三団体の活動報告

1) 繊維技術研究会

私たち繊維技術研究会は、展示している繊維機械を実際に動かして、見学者に説明しています（動態展示）。また、繊維関係のテーマを中心に月に一回、講演会を開催しています。

最近の活動では、5月19日（月）に有名なタオルメーカー「ホットマン株式会社」（青梅市）を見学しました。科学博物館スタッフ2名を含め、21名の大勢で訪れたにもかかわらず、糸入庫からタオル製品となって出荷されるまでの全工程を丁寧な説明付き案内をしていただきました。

久しぶりに織布現場を見た会員も、初めて織布工場を見た会員も、それぞれに納得しての見学で、今後の科学博物館支援活動に何かと参考になったことと思います。
(会長 壁矢久良)



見学会での記念撮影

2) 科学博物館友の会

科学博物館友の会は、繊維に関する工芸技術を学び、博物館の活動を支援しています。今年も絹、手紡ぎ、藍染、型絵染、織物、レース、組ひも、ひも結び、つるかご、わら工芸の10団体がサークル活動を行っています。活動には農工大の農場で刈った羊の毛、演習林で採取したつる、まゆやわらなど学内の素材を使わせていただいています。田植えや毛刈りは普段の生活ではできない貴重な機会となっています。館内に展示されている様々な高機や糸車なども使わせていただき、博物館ならではの活動をしています。

8月19, 20日の子ども体験教室では、各サークルが夏休みの宿題にぴったりのワークショップを用意してお待ちしています。



実演展示室での実習

3) 博物館学生支援団体musset

上半期の大きなイベントは何と言っても新歓でした。現2年生のメンバーは初めての新歓に戸惑いつつ、1人でも多くの新入生にmussetに興味を持ってもらえるように頑張りました。その結果、新しく12名の個性的なメンバーが加わりました。特に農学部生4名、院生3名の入会が、mussetに昨年度とは違った新しい風が吹いているのを感じさせています。こうして広がったメンバーの輪をどう生かしていくか、それが今年度の課題の1つです。

さて、7月からは班ごとに新年度生へのガイド研修を行っています。私は農学部生のガイド研修を担当していますが、皆意欲にあふれていて、とても初めて研修を受けているとは思えないほど、呑み込みが早く驚いています。上級生として新年度生に期待する反面、いつ追い越されるのかひやひやしているところです。8月には班対抗でガイド合戦を行う予定です。新年度生の成長を見られるのが今から楽しみです。

(会長 下村優輔)



新年度生のガイド研修

博物館受付窓口を改修

科学博物館が耐震改修によりリニューアルされてから1年と10ヶ月が経ちました。以前の博物館に比べて見違える博物館になったと、多くの来館者からお褒めの言葉をいただいています。

しかしながら実際に改修後の施設を使用していると、設計の段階では想定できなかった不都合が生じることがあります。その不都合によって、博物館の来館者へのサービスの低下が懸念される場合には、速やかに改善した方が良いでしょう。

そのひとつが、ホールエントランスにある受付窓口です。本来の受付の幅は120センチほどで、3分割されていますが、3分の2は、はめ殺しのガラスと板張りであるため、実際に来館者との会話は40センチほどの狭い隙間を通して受付業務がされていました。

そこで、受付窓口の幅を拡張するため、東京農工大学教育研究振興財団のご支援により、改修工事を行い、写真のようにこれまでの2倍の広さの受付窓口になりました。これによって、来館者が来られたことも事務室からすぐに分かり、また、複数名の来館者への対応もスムーズにできて、サービス向上に役立つものと期待しています。

また、受付には、今年度、新たに導入したAED(自動体外式除細動器)を設置していますので、緊急事態に対応できるものと思います。

(科学博物館事務 鎌田 忍)



改修され広くなった受付窓口

博物館日誌

平成26年6月、7月の入館者数は、それぞれ1,679名、1,235名になり合計2,914名でした。

ところで、先週、テレビで『大人の折り紙講座』が放映され、綺麗な和紙で携帯ティッシュを包む折り紙番組でした。どうやら「折り紙」が静かなブームになっているようです。

当博物館でも、繊維技術研究会が、来館されたお子様折り紙を差し上げたらどうだろうか?という事で、鶴などの折り紙を博物館窓口に置いていかれます。差し上げた時の小さいお子様の喜びや感嘆の声が、こちらの喜びとなる中、二、

三歳と見られる女の子に「鶴」をあげたところ、意味が解らず、たちまち握りつぶしてしまい、こちらの方が「うあ〜」と驚きの声をあげてしまいました。

前々回の子供科学教室の受付をしている時、小さな女の子がニコニコしながら窓口へ手を差し出しているの、よく見ると、その小さな手のひらに「鶴」の折り紙が乗っていました。「あれ?」と怪訝な顔をしていると、隣にいたお父さんから、「貴方から貰った物ですよ。」と言われました。女の子の手のひらの「鶴」は、差し上げた時の綺麗なままで、大事にずっと持っていたことがうかがえました。来館者の喜びは、こちらの喜びでもあり感謝感激です。その親子に、別の種類の鶴、亀、蟹の折紙を差し上げたところ、たいへん喜んで頂けました。博物館来館者のリピーター作りに貢献出来たのではと思っています。

さて、科学博物館では8月19日(火)、20日(水)に子ども体験教室が開催され、博物館友の会のさまざまなサークルがいろいろな教室を開設します。また、繊維技術研究会でも折り紙教室(19日のみ)を開く予定です。どうぞ、お越し下さい。

(科学博物館事務 北川和幸)



《博物館活動カレンダー》

- ★平成26年度第2回企画展
「東京農工大学福島農業復興支援パイオ肥料プロジェクト」
8月5日～9月27日
- ★東京農工大学創基140周年記念特別展
9月16日～10月25日
- ★子供科学教室
8月2日(土):昆虫の体の仕組みを調べてみよう
9月13日(土):親子でチャレンジ!手作りロボットレース
- ★夏休み子ども体験教室
8月19日(火)～20日(水)
- ★繊維技術研究会講演会
10月21日10時～12時 福多健二氏
「横観繊維技術」

「科学博物館ニュース速報」第14号

- ◆発行日 2014年8月1日
- ◆編集 科学博物館ニュース速報編集委員会
齊藤有里加・飯野孝浩・北川和幸
- ◆発行 東京農工大学科学博物館
- ◆連絡先
kahaku@cc.tuat.ac.jp
042-388-7163